

報道発表資料の配付日時 6月14日(金) 16時30分

発表項目 (行事名)	山菜採り遭難の相次ぐ発生について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>本年度の山菜採り遭難は昨年より増加傾向にあり、6月に入り、既に53件60名の遭難事案が発生しているところです。</p> <p>6月8日(土)、9日(日)の週末にかけては9件13名の遭難が発生し、そのうち1名がお亡くなりになっております。</p> <p>本年度の死者数(6名)は既に昨年1年間の死者数に並んでおり、今後も更なる発生が懸念されるところです。</p> <p>山菜採り遭難の発生件数に対する死者数は、交通事故の発生件数に対する死者数の約110倍となっており、死亡する危険度が高くハイリスクな行為となっております。</p> <p>このため、各報道機関の皆様におかれましては、別添く北海道山岳遭難防止対策協議会からの依頼文>のとおり、山菜採り遭難防止に係る報道を(特にホイッスルの携行など)お願い申し上げます。</p>		
参考	<p>【北海道山岳遭難防止対策協議会】</p> <p>道内における山岳遭難の防止や遭難者の捜索救助等の対策の推進を図ることを目的とし、国、道、報道関係機関のほか、道内7つの地方山岳遭難防止対策協議会など約30の機関で構成。(事務局：北海道山岳連盟)</p> <p>※道総務部危機対策局は、協議会の総務部会に所属</p>		
報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		
担当 (連絡先)	<p>総務部危機対策局危機対策課(担当者：主幹 千葉 真一郎)</p> <p>TEL ダイヤルイン 011-204-5008</p> <p>内線 22-583</p>		

令和元年(2019年)6月14日

各報道機関の皆様へ

山菜採り遭難の防止に係る報道のお願いについて

北海道山岳遭難防止対策協議会

(山菜採り遭難の発生状況)

過去5年間の道内における山菜採り遭難は、発生件数409件、遭難者数448名で、このうち死者は36名、行方不明者9名となっており、特に4～6月の発生件数は、全体の8割以上を占めております。

今年は、5月末現在で発生件数33件(前年同期30件)、遭難者数36名(前年同期34名)となっており、加えて、6月に入り、8日(土)、9日(日)の週末にかけ13名が遭難し、そのうち1名が死亡するなど、今後も更なる発生が懸念されるところです。

山菜採り遭難の発生件数に対する死者数は、交通事故の発生件数に対する死者数の約110倍となっており、死亡する危険度が高くハイリスクな行為です。

(山菜採り遭難の防止について)

山菜採り遭難の発生原因としては、山中での方向見失いによる「道迷い」が8割近くを占めており、タケノコ採りの遭難も「道迷い」によるものが多くなっております。

山菜採り遭難の防止について、道や道警察では、ホームページやミニ広報誌はもとより、市町村や関係機関を通じて広く道民に呼びかけるほか、特に道警察では、過去に山菜採り遭難の発生が多い場所において、入山者に対し広報パンフレットを配布するなど、取り組んでいるところです。

(報道機関へのお願い)

各報道機関におかれましては、上記の状況をご賢察いただき、山菜採り遭難の防止に係る積極的な報道を、お願い申し上げます。

(参考)

1 遭難防止3箇条

複数で入山、奥まで行かない、無理をしない

2 山菜採り入山者心得

行き先を告げる、単独での入山を避ける、目立つ色の服装を、携帯電話を携行する、落ち着いて行動する

3 ホイッスルの携行

山菜採りで遭難し、周囲に自分の存在を知らせようとする場合には、ホイッスルは大きな音ができるので大変有効です。

過去の遭難事案では、遭難者が所持していたホイッスルを鳴らしたことにより、捜索隊に発見された例があります。

(連絡先)

北海道総務部危機対策局危機対策課
防災グループ 千葉(直通)011-204-5008
(内線)22-583